

第 1 回第 6 次東員町総合計画策定審議会 要点録

日 時	令和元年 10 月 25 日（金）午後 7 時～午後 9 時
場 所	東員町役場 西庁舎 201、202 会議室
出 席 者	委 員 12 名（うち 3 名欠席） 事 務 局 東員町政策課 3 名

事項

- 1 あいさつ
- 2 会長、副会長の選任
- 3 次期総合計画策定方針について【資料 1】
- 4 東員町の基本データについて【資料 2】
- 5 まちづくりアンケート結果について【資料 3】
- 6 意見交換

3 次期総合計画策定方針について【資料 1】

委員	計画の 10 年は適正か。
事務局	全国に目を向けると 4 年、10 年、20 年などさまざまあるが東員町は 40 年など長い先を見据えた時の最初の 10 年の方向性を定めるという考え方で策定したい。
委員	現在の総合計画は 10 年で策定されているが農業分野が反映されていないのではないか。
事務局	見直しは毎年行っているが、進捗状況を 5 年に 1 回行っているアンケートでしか把握できないものもある。
委員	2030 年までの 10 年間は世界中で大変革が起こるので途中の見直しは必要と考える。北部には住宅地がたくさんある。若い方の転入超過になっている。町民満足度も他地域に比べ非常に高く、まちはコンパクトで人口も 25,000 人とまちづくりとしてのポテンシャルは高いと考える。会議の見える化や今回の計画は「東員町」ならではのと思わせるものでなくてはならない。進学や就職で 1 度は東員町から出るの若い方の心を掴むようなものを作ると良い。そのためには役場の職員も相当がんばらないといけない。
事務局	ワーキング会議を立ち上げ、若い職員も参加している。SDGs の理解やファシリテーション技術を身に付ける研修も行っている。

委員	職員が全てを担うことは難しい。大学やNPOなどに協力を求めることは必要。協力できることはする。
委員	策定の手法としてコンサルに頼らず手作りで進めようという意気込みは良い。

4 東員町の基本データについて【資料2】

委員	人口増の傾向は環境が良いからではないか。また人口の数値目標は設定しないのか？
事務局	施策を実施したことで結果として転入超過になることはあるが、数値目標として設定するかは未定。
委員	75歳以上、85歳以上人口などを実数で議論する必要がある。
委員	就業と税の関係性をもう少し詳しく分析すると良い。就業率のターニングポイントも気になる。今後の就業率の変化はどのように変化すると考えているか。今後も町予算と税収はこの割合で続くのか？
事務局	生産年齢人口はやはり減少していくと思われる。
委員	商売はあるが跡継ぎはいない。三重県に23の商工会がある。東員町は表彰してもらっている。
委員	人口増減のシミュレーションをしてみてはどうか。施策を打てばこのように人口の増減に影響する、または何もしなかった場合はこうなるなどをシミュレーションしてみる。
事務局	東員町まち・ひと・しごと総合戦略の中でシミュレーションを行っているため、これを総合計画に組み込みたい。
委員	農地がなぜ減っているのか疑問。具体的には何で減っているのか。農地転用、住宅、耕作放棄地。農地転用した分はどこに反映しているか。
委員	ほとんどは宅地やアパートではないか？耕作放棄地の調査は年に1回、8月状況調査を行っているが劇的に増えたという感覚はない。農地転用の申請は月3件程度。
委員	今後大きな問題になってくるのは空き家問題ではないか。世代交代がスムーズに進むことが必要。団地は空き家だらけになる。そこをどうするか。

5 まちづくりアンケート結果について【資料3】

・意見なし

以上